

## 令和5年度契約監視委員会（第2回）議事要旨

1. 日 時：令和6年3月（書面開催）
2. 出席者（回答者）：  
（委 員）草加委員長、小笠原委員、柴委員

令和5年度第1回の議事要旨（案）が確認され、了承された。

### 3. 議 事：

#### （1）契約案件の事後点検（令和5年4月～令和5年9月）

令和5年度契約一覧表及び契約資料に基づき、前回点検後の令和5年4月から令和5年9月の間で契約を締結した個々の契約案件のうち、①一者応札となった『学位記用ホルダー』、『既存オンプレシシステムのサイジング移行業務 一式』、②新たに随意契約を締結した『人事給与・就業管理システムデータ移行業務 一式』、③総合評価落札方式で落札者を決定した『令和5年度大学質保証フォーラムの準備・運營業務』について、点検を行い、契約手続きが適正に行われていることを確認した。

なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・『既存オンプレシシステムのサイジング移行業務 一式』について、このような業務に関しては、1者応札になった理由を仕様書配布先からより詳細にヒアリングして、今後の入札手続きに役立てていく必要があるものとする。1者に偏向していると疑われないように透明性を高めることが翌事業年度以降必要なのではないか。
- ・『令和5年度大学質保証フォーラムの準備・運營業務』について、結果的には1者応札になったものの、総合評価落札方式を採用したことで、株式会社が他に数者仕様書の受取がありながら、こうした公共イベント実績のある中小企業に応札した意義はあるものとする。今後はこのような中小企業で業務履行の実現可能性を確認するための売上、利益、人員等の基礎情報整備も考えることが契約履行上のリスクを担保するものとなると思料する。

#### （2）その他

次回の契約監視委員会は、令和5年度調達等合理化計画の自己評価、令和6年度調達等合理化計画の策定の点検及び今回点検した以降の契約について、点検を行う契約を抽出し、契約の適正性、妥当性の検証を行うこととし、令和6年6月頃に実施することが確認された。

以 上